

稲穂峠 ルベシベ山（793、1）

日時：2024年2月23日（土）

参加者：A 藤（CL）、I 井（L1）、S 井（SL1）、U 美（体操）、O 田（気象）、S 田、M 馬（会計）、S 田（L2）、T 川（SL2）、M 江（記録）、Y 樫、T 内、N 沼（L3）（13名）

スキー：11名、スノーシュー2名

コースタイム：6：30 伊達道の駅出発 8：30 稲穂峠トンネルP場 11：45 ピーク・途中で昼食休憩後下山

この日は薄曇り、時々雪がちらつく程度で気温も高かった。

しかし、数日前の異常な暖気とその後の寒波で雪の状態は悪く、ガリガリの雪面にうっすらと新雪が被った程度で下りを考えると憂鬱な気分でのスタートとなった。

稲穂トンネル出口の駐車帯に車を止め、行き交う車両に注意を払いながら国道5号線を横断。トンネルの上部から国道5号線を右手に臨みながら沢沿いの林道に沿って進む。少し進んだところで471ポコを目指して南西尾根にとりつき、尾根上を忠実にたどる。途中、多少勾配の強いところがあり、スキーアイゼンを装着するが雪質の良い場合は必要ないだろう。

スキーアイゼンの効き具合などに手間取り、予定時間より多少時間がかかったが、全員無事に山頂に到着した。帰りは慎重に滑り降りた。スノーシュー組は豪快(?)な尻滑りを披露していた。

この山は雪質が良ければスキーにとって楽しい下りが期待できそうである。ぜひ、来シーズンに期待したい。





文責：M 江